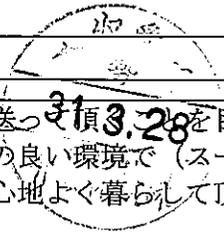


小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表



法人名	森伸	代表者	森下 真二	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域でその人らしく最後まで、ご本人の望む生活を送っています。サービス付き高齢者住宅を併設しており、利便性の良い環境で（スーパーなどの商業施設や日赤病院が近隣である）ご本人もご家族も心地よく暮らして頂けるよう支援をしています。
事業所名	小規模多機能ホーム 森伸伊勢中央	管理者	堀井 健太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	2人	1人	人	人	3人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の理念に添った意識の統一化。 運営推進会議に全てのスタッフが参加できるようにする。（事前にスケジュール管理） 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールを事前に管理し、スタッフが順次参加できるようにしました。 スキルアップの為に、研修に参加や資格取得に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ一人一人が、地域資源の把握が必要。 新人への教育の強化・マニュアルが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の理念に添った意識の統一化。 スタッフ一人一人の事業所の特徴（強み）の再確認と周知。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせや来館の際に、場所の説明をスムーズにわかりやすく説明できるように。看板や目印をしっかりと把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 案内看板があることを伝え、口頭でも目印になる建物等を伝えるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板や目印となるものをしっかり伝えており、迷わず来れている。 看板があることで、以前より周知されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所としての周知の確保。 問い合わせに関して、スタッフ一人一人説明・統一した受け答えができるように。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 行事の際は、事前にご家族様や地域の方にチラシ等配布し、気軽に来て頂ける様にする。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは地域の方に周知していたく為にもしっかり挨拶運動を行いました。 ボランティアの方に声掛け交流を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の昼間ということや、なかなか周知されておらず、参加が困難になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の際は、チラシを作成し地域の方に配布や回覧板等で周知して頂き、気軽に来て頂ける様にする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に可能な限り参加できるようにする。 その為にも早めのスケジュールの調整を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に把握していれば、スケジュール調整を行い職員への参加を促しました。 家庭の事情等で難しい時もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務状況などでなかなか参加できていない。 地域の行事について、しっかりと把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の広報や行政の情報など、情報誌などで効率的に情報を収集し活用する。 外出支援等増やし、地域との交流を図る。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議へスタッフ全員の順次参加し、理解への確立。 ・民生委員へ参加のお願いの継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、交代で参加していただいているも、家庭の事情等で参加できていないことがある。 ・民生委員に随時声掛けを行っているも参加にいたっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加するも何をしたら良いかなどまだ難しくわからない。 ・話し合いの中でも、言葉が難しくなかなか理解が難しい。 ・初めて参加することで、運営会議について何をしているのかが少しずつ理解ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に随時参加し、地域資源に対する理解。情報共有。 ・民生委員への随時参加への声掛けの継続。 ・地域交流の場に参加。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の自部署防災訓練や地域の防災訓練への参加の継続 ・事業所独自の防災マニュアルの再確認・意識づけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回自部署の防災尾訓練を実施しています。 ・地域の防災訓練があれば積極的に参加するようにしています。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴等、一人一人把握できるようにしていかなければいけない。 ・訓練の際も、避難に対して個々の考える力をもっと養わないといけないと感じました。 ・停電を経験したことで、何が必要なのかが少しずつ見えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の防災訓練の実施。 ・地域の防災訓練への積極的な参加。 ・災害時の対策(防災マニュアル・防災グッズの確保)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	1人	1人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ スタッフの価値観の違いがまだある為、情報共有を行い共通のサービス提供できるようにスタッフ間での声を掛け合い、利用者様に声掛けや気遣いが出来るようにする。・ スタッフが積極的にご利用者やご家族様と関わりを持ち不安な思いを聞き取り支援を行えるように心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 部署会議や申し送りノートや声掛けにて情報共有できている時もある。・ 声掛けは丁寧に行い、本人にとって何が大切なのかを知ってから介助を行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	3		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		5	4	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ ご家族様来館時には、最近のご様子などお伝えしたり声をかけ一緒にすごしてもらうなど安心して頂けるような関わり方を気をつけてしている。・ 利用されてから日が浅いご利用者様には積極的に関わり、不安に思っていることはないか聞き取りをしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ 申し送りノートや引き継ぎで、情報共有出来ている部分もあるが、不足していることもある。(個々の情報確認に差がある)・ なかなかご家族様とお会いできる機会がない。・ 初めの関わりを継続して行えていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・ 個々の情報確認の差をなくし、全職員で共有する。・ 来館されたご家族様に同じ職員ではなく随時話せる機会を作る。・ 職員同士の伝えることに対してもっと認識し、双方がしっかり理解できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の無駄をなくし仕事の効率化を目指す。 ・ケアプランに対し、実現に向けて何が出来るかを具体的に話し合い活かす。 ・ケアプランの理解を深める (内容の把握)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・再度、ケアプランの見直し (職員の) ・業務の見直しをし、随時業務の効率化 (書類等の書き方等)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	4		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	3		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	8	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	2	5	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの情報が伝わっている。(ケアプランの理解もしっかり出来ている) ・ミーティングで色々な意見を聞き対応している。 ・日々、関わりの中でどうしたいかなど聞き取りをしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・担当以外のご利用者様の目標がまだ理解できていないところがある。 ・目標としている事に近づけていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標の再確認。それに対する対応方法や話し合い。 ・利用者様個々の把握、関わりを増やししっかり「～したい」の理解をする。 ・ 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方についてその人との関わり、知ろうという意識を高める。(以前の暮らしについて理解を深める。コミュニケーション能力を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の話の中からや、情報共有にて聞き取り出来てきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1		7	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4	2		10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	4	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		9	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・食事や入浴・排泄などのご利用者様の状況に合わせて出来ている。 ・バイタルチェック表や夜勤者との引き継ぎで共有できている。 ・定期的に話しをして悩み等聞き取るようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症等で、本人の気持ちや体調(その日その日)の変化に気づけていないことがある。 ・10個以上の把握が出来ていない(以前の暮らしについて) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的は個々の聞き取り。 ・自信のスキル向上 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	3人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も民生委員への声掛けを継続する。 ・地域の資源について、職員が考える機会をつくる。(勉強会の実施) ・小さい事でも情報の共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことでも情報共有のため、申し送りノートに書き情報共有している。 ・今後も民生委員への声掛けを継続する。 ・職員会議の中に、地域の資源などに関しての勉強会を行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	2	1	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	1	2	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	4	1	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	5	

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加できている。 ・アセスメントを読み、本人様の会話の中から理解している。 ・日々の関わりから大まかな生活は把握できている。 ・ 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・施設外・地域の情報や資源等を把握できていない。 ・地域資源に対する理解、勉強不足 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌などから情報を収集し、職員同士での情報共有を行う。 ・今後も民生委員への声掛けを継続する。 ・ 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用様が連泊を希望された時、随時対応できる職員の人員配置をする。 ・地域の資源について、職員が考える機会をつくる。(勉強会の実施) ・職員の意識不足
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源の情報収集として意識をし、伊勢広報誌などでの情報収集を行う。 ・通いは柔軟に対応できているも、連泊が随時対応ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1		7	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	2	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6		1	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8		1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・通い、訪問 g ニーズに合わせて提供できている。 ・申し送りノートに記載したり、記事を読むことで「変化」「ニーズ」「状態」を把握している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・気づいて口頭・申し送りノートで共有するも、変則勤務のため共有出来ない時がある。 ・記録等の読み返しが出来ない時があり、変化に気づくことが出来ない時がある。 ・地域資源についての知識不足がある(勉強不足) ・小規模として「宿泊」ができていない。(職員不足) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人員配置不足 ・地域の資源について把握・情報収集する。(知識不足のため・勉強会の実施) ・出勤日以外での記録。状況把握。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

6. 連携・協働

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方に小規模に来て頂き、利用者様や職員、又は地域の方たちとの交流を図る。 ・地域の方が気軽に参加して頂けるような、健康相談や介護相談などを実施する。 ・地域の広報や行政の情報などを効率的に入手し、活用する。(ご利用者様と行事・イベントに参加) ・普段から地域の人に声を掛ける。挨拶運動。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にボランティアの方に来ていただいています。 ・地域の方に対して、積極的に挨拶を行っている。 ・運営推進会議などで情報交換している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		3		7	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	1	8	10
②	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?				10	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1		3	6	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪看、主治医、福祉用具の方には書類を交わして連携を取っている。その際、ご利用者様の状態をお伝えしている。 ・自分の考え等、しっかり言える環境がある。 ・出勤時や退社時など、地域の方にお会いしたら必ず挨拶をしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練以外の地域イベントに参加ができていない為、まだ地域住民とのかかわりが少ない。(地域の方との挨拶運動はできている) ・地域のイベントや行事など把握できていない。(情報収集不足・勉強不足)(日常業務に追われていて余裕がない) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方達にもっと声かけを行い、交流を図る。 ・地域の広報や行政の情報など情報誌などで効果的に入手し、活用する。(ご利用者とともに行事やイベントに参加する) ・継続して普段から地域の人に声をかける。挨拶運動。 ・外出支援等増やし、地域の方との交流を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

7. 運営

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営に職員が考える機会をつくる (勉強会の実施) ・地域との協働した取り組みを考える。・運営推進会議においても、意見やアドバイスを頂く。 ・積極的に皆が取り組む・考える・知恵を出す。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等では積極意的に意見・発言するようになっている。 ・運営推進会議などで、情報共有している。 ・本人様・家族様の意見などすぐ反映するようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?		6	1	3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	1		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1		8	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			2	8	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見や苦情の報告や相談は出来ている。(ご利用者様からの苦情、意見は言いやすい雰囲気であると感じる) ・職員として意見を言いやすい環境を作っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様や地域の方からは会う機会が少なく、なかなか意見や苦情を聞く機会がない。 ・勉強会の実施や地域交流。 ・変則勤務の為、会議があってもなかなか参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としての方向性などを考え直す (勉強会や話し合い) ・運営推進会議に参加 (変則勤務の為勤務調整をし、全員が順次参加できるようにする。 ・地域交流の場に参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会の参加を促す。 ・職員会議の中にミニ勉強会の時間をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・部署会議にて、毎回ではないが勉強会を行っている。 ・勉強会ではなく、研修（勉強会）に参加している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		8	1	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	3	1	10
③	地域連絡会に参加していますか		1	1	8	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	6	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 実施される社内研修に出来るだけ参加している。（不規則の勤務の溜め、月 2 回研修会を行っている。） ・介護福祉士、介護支援専門員資格取得・吸痰研修など研修が社内で開催されている。社外の研修にも、随時参加しスキルアップに努めている。 ・事故などに対する報告書の提出 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについての理解があまり出来ていない（勉強不足） ・地域連絡会に参加できていない（勤務状況） ・徹底したリスクの防止策の検討。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の際に、しっかりと話し合う。 ・リスクマネジメントの理解を深める（重要性） ・対応方法のマニュアル化。（事故などがあつた際の） 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 10 日 (19:00 ~ 21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鈴木・杉原・久保・森岡・濱口・宇藤・谷川原・森田・小寺・堀井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	2人	5人	10人

前回の改善計画	・ 事務所内のホワイトボードの個人名のイニシャルだけにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 新人の職員がご利用者の把握がまだできていない為まず把握していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	7		1	10
②	虐待は行われていない	6	3		1	10
③	プライバシーが守られている	2	7	1		10
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	1	8	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	2	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ ご本人様の希望を出来るだけ聞くようにしています。(本人希望を優先している)	
・ 入居者様のところに入室する際は必ずノックをし、中から返事があったから入室する。	
・	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 職員以外にも入室できる事務所のホワイトボードのご利用者の名前がイニシャルにできていない。	
・ 職員同士の情報共有の中で、フロアにてしてしまっている時があり他の利用者様に聞かれる可能性がある。	
・ 成年後見制度について対象者がいなく理解が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ しっかりとご利用者の把握しイニシャルにすることでのプライバシーの保護	
・ 情報共有の際の伝達方法 (職員同士の話す場所や周りの確認)	
・ 成年後見人の知識 (勉強会)	